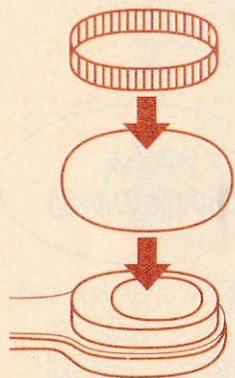
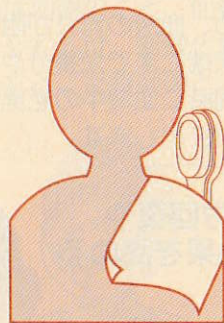


◎正しい使用方法◎

1. 熱盤のある灸頭部（白い部分全体）に付属の布（又はYシャツ等の薄い布）を被せて、その上からリングをはめて布を固定させる。

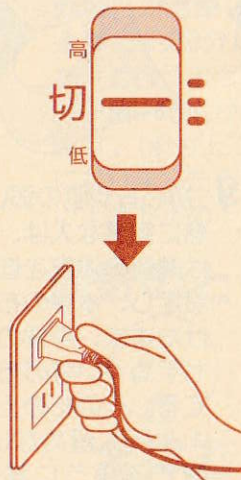


2. リングを灸頭部の根元までよく押し込んで、布にシワがよらないように注意して下さい。

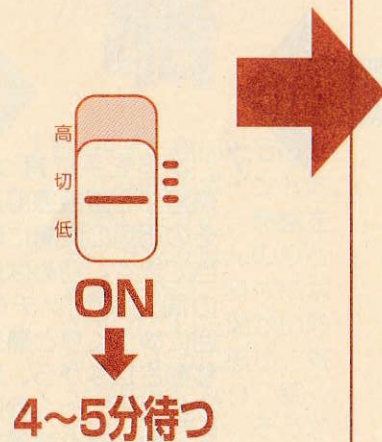
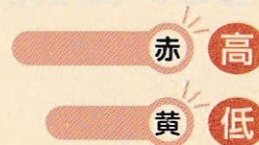


3. また灸頭部に布を被せず、身体の上に手ぬぐい等の大きめな布を当て、この布の上から治療しますと他の人へ行う時など、治療しやすくなります。
(アトピー等で皮膚が弱い方には直接擦らないので特にお勧めです。)

4. 電源プラグを家庭用コンセントに差し込むときは、本体の電源スイッチを切った状態にしてから差し込み、それからスイッチをONにし、表示ランプの点灯を確認して下さい。



5. 表示ランプの点灯を確認して下さい。スイッチを低温に設定したときは黄色のランプが、高温に設定したときは赤色のランプが点灯します。



6. スイッチを入れてから設定温度に達するまで、4~5分待ってから使用するようにして下さい。

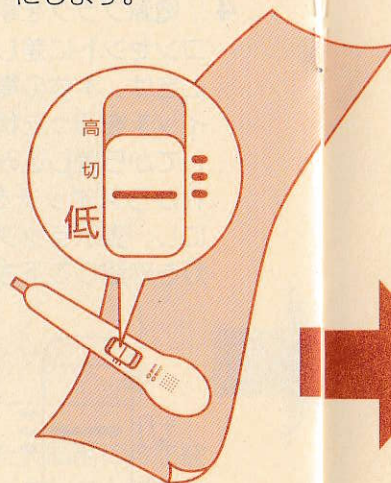
◎正しい使用方法◎

1～3秒ずつ



7. 本体を手にとって、熱盤部を直接患部及びその周辺の皮膚に軽く当てます。初めは患部の周辺10センチの範囲にゆっくりと熱盤を移動させながら、順次患部に約1～3秒間当て、熱を注ぐ要領で治療します。動かす早さが早いとぬるく感じ、遅いと熱く感じます。

8. 強く熱いと感じたら皮膚から離し、その周囲を撫でるように移動させ、また当てるようにします。



9. 初心者や肌の弱い人、熱に敏感な人は、最初は熱盤の温度を低温に設定し、本体の布をつけたまま、身体の上にも手ぬぐい等の布を当てる。その布の上から1ヶ所に留めないで、撫でるように移動させ、慣れるに従って患部に1～2秒留めて治療するようにして下さい。

元気なとき



全体で
約20分以上

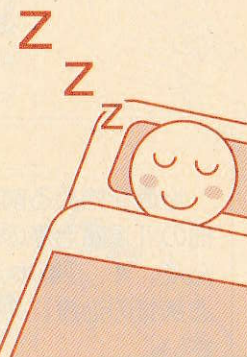
10. 通常の基礎的な治療時間は、全体で約20分以上を目安として行います。特に病気治療を目的に行う場合は、患部1ヶ所に10～15分見当で治療します。全体で約30分以上をかけて行うようにした方が良い結果が得られます。(肌がピンク色になりましたら、それ以上はお止め下さい。)

病気のと き



全体で
約30分以上

を1日3回行うようにして下さい。



11. 丹念に患部とその周辺の治療のポイントに注熱しますと、熱盤を当てた所がほんのりと赤味を帯び、身体にポカポカとした温かい熱が残るように感じ、気分が爽快になり、眠くなってきます。そうなれば温熱治療の効果が得られたものと判断できますので、治療を終了して下さい。こうなれば夜もグッスリ安眠できるようになります。